

ボランティアだより

第23号

平成26年3月15日発行
編集発行
尾花沢市社会福祉協議会
尾花沢市ボランティア連絡協議会
東光館内 ☎22-1092

サマーヤング ボランティアスクール 2013



- 1ページ/サマーヤングボランティアスクール2013
- 2ページ/ボランティア連絡協議会会長のお話し
- 3ページ/雪ほり隊大活躍・くまモン挑戦
- 4ページ/ボランティア案内・ボランティア活動保険について

平成二十五年八月一日この日はあじこの雨ふり……徳良湖のゴミ拾いを予定していましたが、急きよ『車いす体験』と『老人疑似体験』に切り替えて小学生七名、中学生八名、高校生十一名で行いました。前半は体験学習をし、後半は小中学生がそば打ち体験、高校生は東日本震災の体験談をもとにしたスライドで災害学習を行いました。高校生のグループでは災害時に行つ、炊き出し体験をしハイゼックスという袋に米を詰め、「これで炊けるんだ」と不思議がりながら挑戦していました。毎年いろんな企画を行つていきますので、今年参加されたい方ぜひお待ちしております。



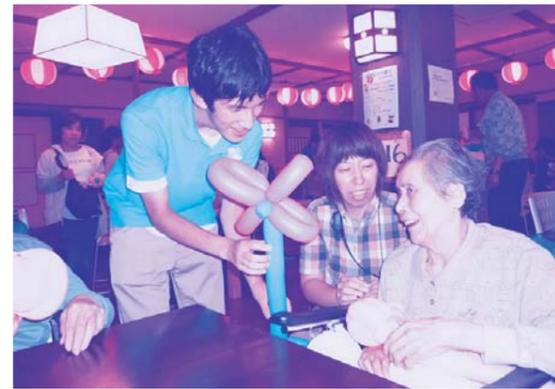
ありがとう



尾花沢中学校JRC委員会より贈り物

平成25年12月5日、尾花沢中学校JRC委員会で、毎年行われている車いす贈呈式が行われました。この活動は、生徒全員がアルミ缶を集め、それを換金して福祉施設に車いすを贈っています。今年度は長寿園さんに贈られました。

今回は、ペットボトルキャップも収集し、山形銀行尾花沢支店さんに寄付をしました。これは、ポリオワクチンとして生まれ変わり発展途上国の子供たちへの支援になります。



◎高校生ボランティアサークル『風ぐるま』 ◎友和会

平成25年9月16日に特別養護老人ホームの『おばなざわ祭り』が催されました。高校生ボランティア『風ぐるま』のメンバーがバルーンアートを披露し、利用者の方たちにプレゼントしました。

この祭りには、他に友和会さんの踊りボランティアも参加し様々な踊りを披露してきました。

屋台なども出て、焼きそばやお好み焼きなどボランティアも楽しませていただきました。

ボランティア保険に加入しましょう

保険金の種類		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,200万円(限度額)	1,800万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	手術の種類に応じて入院保険金日額の10倍、20倍、40倍	
賠償責任の補償	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	賠償責任保険金	5億円(限度額)	5億円(限度額)
年間保険料	基本タイプ	A 300円	B 450円
	天災タイプ	天災A 460円	天災B 690円

※天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者地震のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

尾花沢市社会福祉協議会ホームページ www.obanazawa-shakyo.jp

尾花沢市社会福祉協議会

検索



尾花沢中学校 2年生

恒例の「雪かき塾」今年も13軒のお宅を雪かきしてきました。

今回の参加者は2年生97名と大学生のボランティア。共に交流しながら、高齢者宅の除雪を体験し、子供たちはいろいろなものを得ることができたようです。やり終えた時の達成感・人の役に立てるといこと・雪国でのボランティアの必要性などを学んだようです。



雪かき塾 おばね雪ほり隊

おばね雪ほり隊として、1月下旬の土曜、2月最初の土日に除雪ボランティアとして述べ人数236名が参加してくれました。多くは岩沼市から、青森、千葉、神奈川と全国からボランティアに来ていただきました。



くまモンまで除雪ボランティア

あのご当地キャラ熊本県の「くまモン」が除雪ボランティアがしたい！……ということで、押切地区で宮沢小学校6年生と一緒に除雪ボランティアを体験しました。

「くまモン」は、みこと雪かきマスターの資格を取得し、スノーダンプやスコップも上手に使いこなしておりました。



©2010熊本県くまモン



復興支援ボランティア あつあつ玉こんにゃくと花笠踊りで交流

尾花沢市ボランティア連絡協議会
会長 大類 よし子

厳しい寒さも漸く緩やかに春の訪れが待ち遠しい頃となりました。

皆さまには、冬期間も各種ボランティア活動にご尽力下さり心より感謝を申し上げます。3・11の大震災から未だ丸二年になりますが、未だに仮設住宅での生活を余儀無くされている多くの方々を思うと心が痛みます。

さて、市ボランティア連協では、岩沼市仮設住宅で生活されている皆様のごところにお伺いして復興支援ボランティアを続けて三年になります。

今年度は、去る十月二十七日、市社会福祉協議会小野紀男会長、沼澤一夫局長、市健康福祉課本間補佐も参加。総勢二十名でお伺いしました。

当日は下搾えした玉こんにゃくを大鍋数個分準備して運び、現地であつあつに仕上げてみなさんに配りました。

その日は好天気に恵まれ、会員による花笠おどり、松本コト副会長のとんと昔、滑稽なお殿様に変装しての健康踊りの指導は阿部茂子会員、共に野外で賑やかに披露することが出来ました。仮設の皆さんも一緒に踊り、和やかな交流となりました。

毎年、私達のボランティアを楽しみにして待っていますと言つ声をお聞きし、嬉しく思っています。日曜日だったので近くのグラウンドで野球大会に参加しておった子供さんにも玉こんにゃくを配りました。

くを配り保護者の皆さまも喜んで下さいました。お伺いする度に元気を取り戻している様子を感じられますが、一日も早く元の生活が出来るよう願っています。

今回は、岩沼市社会福祉協議会三浦一朗会長の配慮でもてなしボランティアの皆さんが作って下さった岩沼のいも煮汁と美味しいおむすびを御馳走になりました。リーダーの本郷ちよ子様は、尾花沢大好きです。今日は私の心のビタミン愛をたっぷり入れて作りましたと笑いをいれられて挨拶をいただきました。私達も昼食をいただきながら楽しい一時をすごすことが出来ました。岩沼市社協の皆さまに厚く御礼申し上げます。

当会では例年継続事業の一つにボランティアスクールがあります。今回は、傾聴ボランティア講座を開催しました。講師は尾花沢出身、現在は千葉県在住の安西健二様(退職後、シニアピカウソンセラ―として活躍)をお迎えして、傾聴「心の通う聴き方」を学びました。

「人は自分の心の中の喜び悲しみ、苦しみを他人に聴いて貰いたい欲望を持っている。心の中を話したい時、そばに良い聴き手が必要とされる」と聴き上手になる事の重要性を学びました。傾聴ボランティアは施設に限らず、身近なところで出来ると思っております。

今後、ますます少子高齢化が進む中で、傾聴ボ

ランティアの輪が広がることで、お年寄りもみんな元気な福祉のまちづくりにつながるようお願いいたします。安西様からはボランティアで指導いただきました。ありがとうございました。今冬も一月二十五日と二月一日の二日間、岩沼市からバス二台の皆様をはじめ青森弘前学院大学、県内の大学生、広域ボランティアの多くの方が、除雪ボランティアへ参加して下さいました。岩沼市からの参加者には中学生男女合わせて七名いらっしゃいました。元気な男の子からは「天気が良かったので楽しかった」とのお話を聞き、私達も安心しました。

当会では二日間わたり、いもこ汁とトン汁を作り、会員が持ち寄った漬物でもてなしをしたところです。

これからも皆さまのご協力をお願い申し上げます。活動の報告とさせていただきます。

